

3 持続可能な個性あふれるまちづくりの推進について

【国土交通省】

《提案・要望事項》

本格的な人口減少・高齢化社会の到来を迎えるなか、安全で暮らしやすい市街地を形成し、持続可能な個性あふれるまちづくりを推進するため、次の事項を要望する。

- 1 都市における交通渋滞の解消、安全で快適な都市空間の確保を図るため、都市計画道路の整備を着実に推進するための財源を確保すること。
- 2 都市公園について、既存施設の長寿命化対策や、利用者ニーズにあった機能向上のための施設整備を推進するための財源を確保すること。
- 3 市町村が進める都市再生整備計画事業や、立地適正化計画の策定のための調査について、計画的、持続的に実施できるよう必要な財源を確保すること。
- 4 空き家等対策に係る支援策の要件緩和や拡充を図ること。また、官民連携のリノベーションを推進するため、人材バンクの創設や普及啓発のための補助要件を緩和すること。
- 5 第36回全国都市緑化信州フェアの開催について、格段の支援をいただきたいこと。

【現況、課題等】

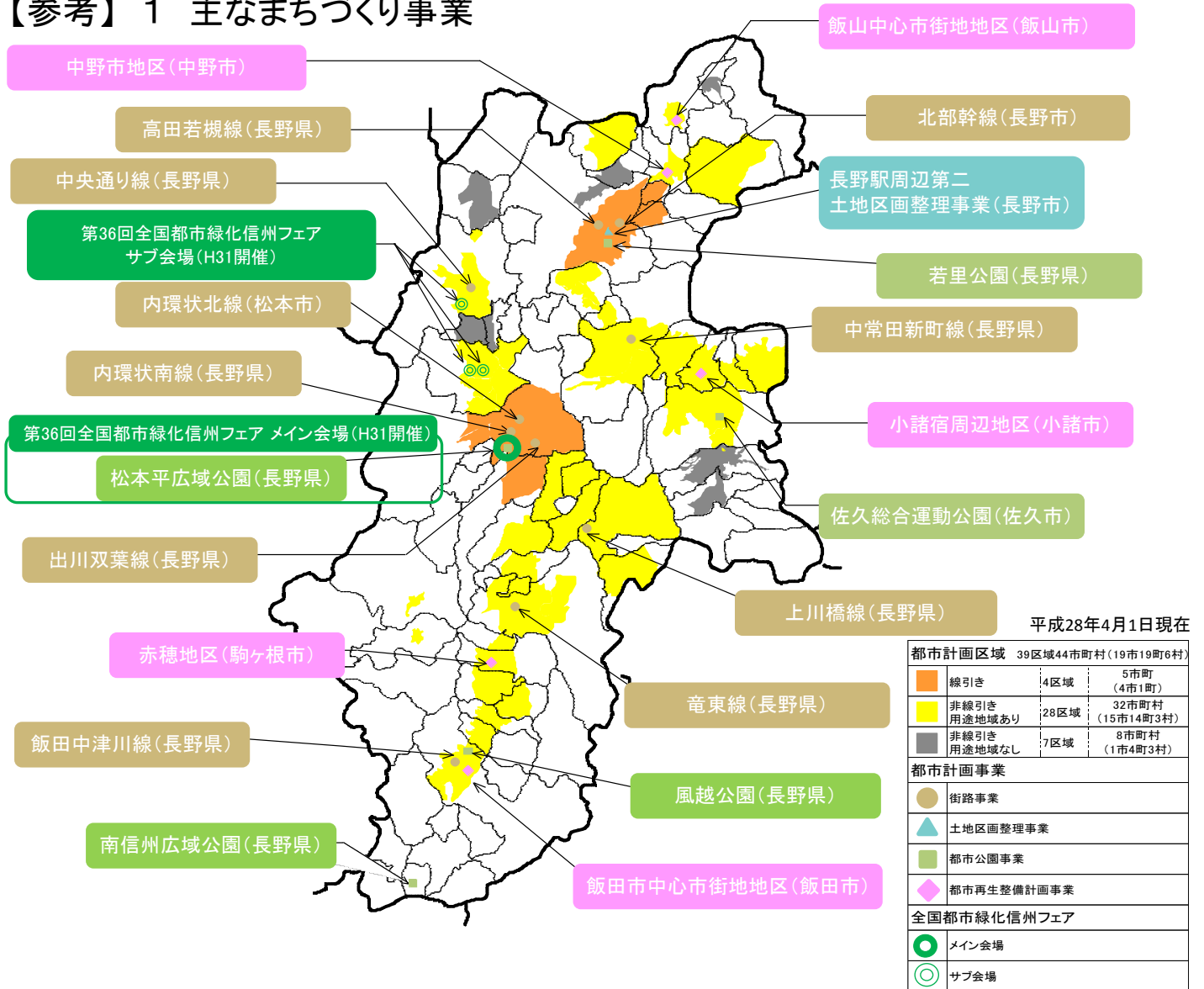
- 1 本県では、交通の円滑化、安全な通学路の確保等が急務であるが、街路事業においては必要な財源が確保できず、供用時期が遅れる等の支障がでている。
- 2 都市公園においては、松本平広域公園など老朽化施設の長寿命化対策（アルウインのピッチ芝更新等）や公園活性化に向けての施設の機能向上が必要である。
- 3 都市再生整備計画事業等は、社会資本整備総合交付金等の配分が不足しており、計画の見直しを余儀なくされている地区もあり、確実な財源確保が課題である。
- 4 空き家（総数全国2位）等の増加が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしているが、空き家の活用に係る国の支援は、地域活性化に資する交流施設などに転用する場合に限られており、個人が居住用に用いる場合の改修は対象外となっている。
また、リノベーションによるまちづくりを推進するために必要な専門人材に関する情報が不足しており、補助対象も全国的な規模のセミナー等に限定されている。
- 5 平成31年春に開催する第36回全国都市緑化信州フェアの大臣同意を9月12日にいただいた。

【長野県の取組】

- 1 長野市高田若槻線など3箇所での交通の円滑化を図る鉄道との立体交差化や、通学路の安全確保を図る都市計画道路の整備を重点的に推進している。
- 2 都市公園の長寿命化計画に基づき、施設の更新やバリアフリー化を進めるとともに、松本平広域公園では、隣接する空港国際化との連携及びスポーツの観光拠点としての施設整備に取り組んでいる。
- 3 市町村が取り組んでいるまちづくりに対して、計画策定・事業実施の技術的支援や情報提供、専門家を派遣する制度を設けるなど、積極的な支援を行っている。
- 4 県及び市町村との協働並びに官民連携により、空き家対策連絡会の設置、相談体制の整備、空き家の流通促進、リノベーションまちづくりの推進等に取り組んでいる。
- 5 全国都市緑化信州フェアの開催に向け、県と地元4市（松本市、大町市、塩尻市、安曇野市）で基本計画策定中。来年度早期に実行委員会を設立。

（県所管部局）建設部

【参考】 1 主なまちづくり事業

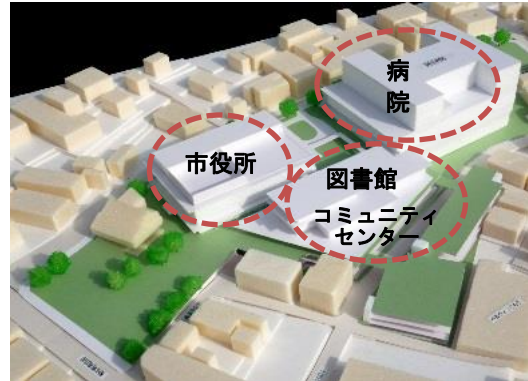


<街路事業(県事業)>



高田若槻線(長野市)

<都市再生整備計画事業(市町村事業)>



小諸宿周辺地区(小諸市)

<第36回全国都市緑化信州フェア>



メイン会場: 松本平広域公園 (松本市)

2 長野県内の空き家

○県内の空き家は年々増加。平成5年からの20年間で約2倍
○別荘を含む空き家率は全国で2番目に高い

